治療計画書

療法名　ダラキューロ＋Kd療法　3-6サイクル目　療法　1サイクル　4　週

疾患名　再発又は難治性の多発性骨髄腫

注射	Rp	商品名	用量(/回)	投与ルート	投与時間	1							2							3							4						
内服			用量(/日)	用法		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線		照射部位	照射量																														
注射	1	5%糖液	250 ml	点滴	キープ	●	●						●	●						●	●												
注射	2	ダラキューロ	1800 mg	皮下注		●														●													
注射	3	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	キープ	●	●						●	●						●	●												
注射	3	カイプロリス	56 mg/㎡	点滴(側管)	30分間	●	●						●	●						●	●												
		注射用水	2mg/mlで溶解																														
		5%糖液	100 ml																														
			※最大123mg																														
注射	4	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●	●						●	●						●	●												
注射	5																																
注射	6																																
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
内服	1	レナデックス	20 mg	ダラキューロ投与1時間前		●														●													
内服	2	レナデックス	20 mg	1日1回朝食後			●						●	●							●												
内服	3	レナデックス	40 mg	1日1回朝食後																							●						
内服	4	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	2 mg	ダラキューロ投与1時間前		●														●													
内服	5	カロナール	1000 mg	ダラキューロ投与1時間前		●														●													
内服	6																																
内服	7																																
放射線			Gy																														

特記事項

・Grade3のインフュージョンリアクションが3回出現した場合およびGrade4のインフュージョンリアクションが出現した場合は、ダラキューロの投与を中止する。
・カルフィルゾミブは年齢や毒性に応じて減量を考慮する。
・75歳を超える、過小体重(BMI:18.5kg/m2未満)、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に対する忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者には、レナデックスを以下のように減量する:Day1, 15, 22に20mgを、Day8に12mgを、Day9に8mgを内服する。

減量規定

薬品名	カイプロリス				
標準投与量	56 mg/㎡				
1段階減量	45 mg/㎡				
2段階減量	36 mg/㎡				
3段階減量	27 mg/㎡				
4段階減量	投与中止				